

2024 年 2 月 29 日

各 位



株式会社 SBI 新生銀行
昭和リース株式会社

【サステナブルインパクト】昭和リースによるグリーンビルプロジェクトの ZEB、BELS 認証取得について

このたび、SBI 新生銀行グループの昭和リース株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 平野 昇一、以下「昭和リース」）が企画、フィナンシャルアドバイスをを行い、既存ビルの省エネ化工事による BELS 認証を取得するグリーンビル※¹ 開発を目的として、2023 年 9 月に匿名組合出資の一部を実行したファンド事業について、当初の予定通り ZEB※² Ready（ゼブレディ）および BELS※³ ☆☆☆ の認証を取得いたしました。

本プロジェクトは今後、当該建築物に対し、ZEB プランナーである株式会社プランテック（東京都千代田区、代表取締役社長 小山 直行）による省エネ化設計のもと、エクシオグループ株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 船橋 哲也）が工事施工を行う予定です。

昭和リースは、今後もカーボンニュートラル実現に向けた気候変動対策として、既存ビルの省エネ化を推進してまいります。



なお、本ファンドで調達済のシニアローン、メザニンローン及び匿名組合出資持分に対して、株式会社 SBI 新生銀行サステナブルインパクト評価室が「グリーンローン原則」への適合性評価を実施し、すべてグリーンファイナンスとして実行されております。今般の ZEB および BELS の認証取得は、環境改善効果にかかるインパクト・レポーティングの指標の一つであり、インパクトファイナンスで求められる「インパクトの測定（Impact Measurement）」の一環です。詳細は関連記事をご参照ください。

※¹ グリーンビル：エネルギーや水・空調設備などにより環境への負荷を削減した建築物のことであり、本ファンドにおいては BELS☆☆☆ 以上の認証を取得したビルを指します

※² ZEB（ゼブ）：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称
参照：<https://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>

※³ BELS（ベルス）：Building-Housing Energy-efficiency Labeling System（建築物省エネルギー性能表示制度）の略称
参照：[https://www.ceec.jp/column/bels-method-of-calculation/#BELS ランクの考え方](https://www.ceec.jp/column/bels-method-of-calculation/#BELS%20ランクの考え方)

関連記事：

【サステナブルインパクト】昭和リースによるグリーンビル開発ファンドの組成及び匿名組合出資について
<https://corp.sbishinseibank.co.jp/ja/news/news/20230914a.html>

以 上

お問い合わせ先

SBI新生銀行グループIR・広報部

報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp